

福井県感染症発生動向調査速報

<<令和4年>>

<週報> 第17週 (令和4年4月25日～5月1日)

発行日: 令和4年5月9日

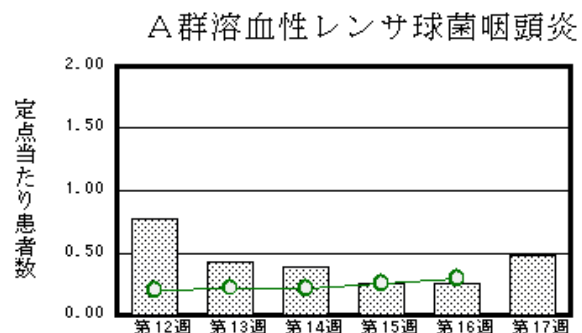
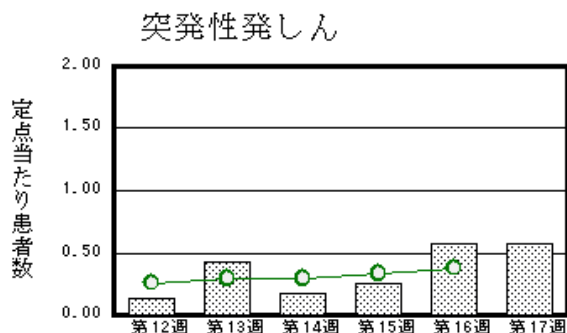
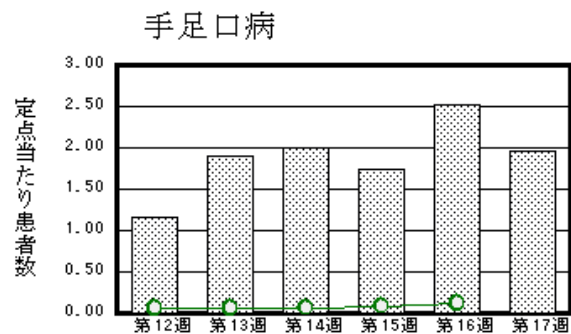
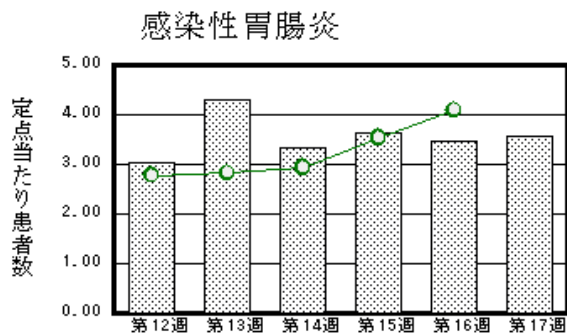
発行: 福井県健康福祉部保健予防課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①感染性胃腸炎82名(3.57名) ②手足口病45名(1.96名) ③突発性発しん13名(0.57名) ④A群溶血性レンサ球菌咽頭炎11名(0.48名) ⑤RSウイルス感染症9名(0.39名)
()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(82名) ②手足口病(45名) ③突発性発しん(13名) ④A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11名) ⑤RSウイルス感染症(9名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は82名です。定点当たり報告数は増加しました(3.48名→3.57名)。地域別にみると、二州地区7.33名、坂井地区5.67名、福井市地区4.57名、若狭地区2.00名、丹南地区1.20名、福井地区1.00名の順となっています。
- 【手足口病】報告数は45名です。定点当たり報告数は減少しました(2.52名→1.96名)。地域別にみると、丹南地区5.60名、奥越地区5.50名、若狭地区1.50名、坂井地区0.33名、二州地区0.33名、福井市地区0.14名の順となっています。
- 【突発性発しん】報告数は13名です。定点当たり報告数は変動ありませんでした(0.57名→0.57名)。地域別にみると、若狭地区1.50名、奥越地区1.00名、福井市地区0.86名、丹南地区0.40名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は11名です。定点当たり報告数は増加しました(0.26名→0.48名)。地域別にみると、二州地区1.67名、坂井地区0.67名、丹南地区0.60名、若狭地区0.50名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2022年第15週(4月11日～4月17日)

発生動向総覧	<第15週>手足口病の定点当たり報告数は当該週の過去5年間の平均を下回っているが、3週連続で増加した <3月>性感染症・薬剤耐性菌感染症について
注目すべき感染症	<今週は該当記事はありません>
感染症関連情報	国内におけるSARS-CoV-2のゲノム解析/国立感染症研究所および地方衛生研究所等における全ゲノム解析により確認されたVOCs, VOIs, VUMs/病原体情報/海外感染症情報/その他
速報	<今週は該当記事はありません>

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

一類感染症：報告はありませんでした。
 二類感染症：報告はありませんでした。
 三類感染症：報告はありませんでした。
 四類感染症：レジオネラ症（福井市1名）の報告がありました。
 五類感染症全数把握対象：侵襲性肺炎球菌感染症（福井1名）の報告がありました。
 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症（福井市405名、福井18名、坂井144名、奥越31名、丹南297名、二州138名、若狭64名、県外在住13名、非公表96名）の報告がありました。

類型	病名	年齢								
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	非公表	
四類	レジオネラ症								1	
五類	侵襲性肺炎球菌感染症							1		
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	169	248	150	171	177	81	117	93	

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 令和4年 第17週 令和4年4月25日(月)～令和4年5月1日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(16週)
インフル エンザ (37)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ を除く)										18 0.00
小児科 (23)	RSウイルス感染症	3 0.43		2 0.67		4 0.80			9 0.39	26 1.13	416 0.13
	咽頭結膜熱			2 0.67		2 0.40		1 0.50	5 0.22	3 0.13	322 0.10
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎			2 0.67		3 0.60	5 1.67	1 0.50	11 0.48	6 0.26	907 0.29
	感染性胃腸炎	32 4.57	1 1.00	17 5.67		6 1.20	22 7.33	4 2.00	82 3.57	80 3.48	12849 4.09
	水痘				1 0.50				1 0.04	2 0.09	224 0.07
	手足口病	1 0.14		1 0.33	11 5.50	28 5.60	1 0.33	3 1.50	45 1.96	58 2.52	374 0.12
	伝染性紅斑									1 0.04	41 0.01
	突発性発しん	6 0.86			2 1.00	2 0.40		3 1.50	13 0.57	13 0.57	1190 0.38
	ヘルパンギー ナ									3 0.13	32 0.01
流行性耳下腺 炎									1 0.04	121 0.04	
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*	*		*	*			1 0.00
	流行性角結膜 炎	1 0.50							1 0.33		105 0.15
基幹 (6)	細菌性髄膜炎										5 0.01
	無菌性髄膜炎										6 0.01
	マイコプラズマ肺 炎		*	*				1 1.00	1 0.17		5 0.01
	クラミジア肺炎(オウム 病は除く)										1 0.00
	感染性胃腸炎(ロ タウイルス)										4 0.01
	インフルエンザ (入院患者数)										※1

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

*欄には定点はありません

細字は定点当たり患者数

※1は、2021/2022シーズンの全国の集計は第10週で終了いたしました。

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和4年第17週 令和4年4月25日(月)～令和4年5月1日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエ ンザ(鳥イン フルエンザ を除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性胃 腸炎(ロタ ウイルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月	1										～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月	2			2		3		4			～11ヶ月									
1歳		1歳	3	3		20		27		6			1歳									
2歳		2歳	1	2		11		10		3			2歳					1				
3歳		3歳	2		3	6	1	4					3歳									
4歳		4歳				10							4歳									
5歳		5歳			1	5		1					5歳									
6歳		6歳			2	6							6歳									
7歳		7歳			1	4							7歳									
8歳		8歳			1	3							8歳									
9歳		9歳			1	3							9歳									
10～14歳		10～14歳			2	10							10～14歳									
15～19歳		15～19歳											15～19歳									
20～29歳		20歳以上				2							20～29歳									
30～39歳													30～39歳		1							
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳									
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合 計		合 計	9	5	11	82	1	45		13			合 計		1			1				
前期計		前期計	26	3	6	80	2	58	1	13	3	1	前期計									
当期間/前期	***	当期間/前期	0.35	1.67	1.83	1.02	0.5	0.78		1			当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数	-17	2	5	2	-1	-13	-1		-3	-1	増減数		1			1				

***は前期計が"0"のとき